

# レポート No. 331



日本共産党中央区議会議員 **おぐり智恵子** の

議員活動報告

自宅：中央区日本橋浜町3-41-5-1002  
Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563  
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

## いのちを守り育む中央区に



地震で破損した建物

### 力合わせ復興・再生を

東日本大震災は、原発事故の影響も含め、被災地はもちろん、日本全国に大きな打撃を与えています。「例年なら新年度は注文が増える時期だけれど、注文が激減している」「計画停電の影響で夜飲食店に来る人がほとんどいない」など地域経済にも深刻な影響が出ています。災害をのりこえていくために、経済や政治のあり方も根本的に見直して、国家的プロジェクトとして、思いきった復興計画が求められます。

### どうする震災復興財源

中央区内でも、地震によって修理や建替えが必要になった住宅などがありますが、災害救助法の指定地域ではないため、個人補償の支援は受けられません。生活再建のための個人補償制度の抜本的な拡充が必要です。日本共産党は、復興財源は、被災者にも重くのしかかる消費税増税などでなく、国の予算を抜本的に組み替え、大規模補正

を行なって確保するよう提案しています（左図参照）。

### 中央区防災計画の見直しを

中央区の地域防災計画は、06年5月東京都が発表した被害想定を元にしており、マグニチュード7・3、震度6強を前提にしています。今回の地震のようなM9・0を前提にした、防災計画の抜本の見直しをすすめるべきではないでしょうか。

### 1 2011年度予算案の組み替えを

- 法人税減税、証券優遇税制の延長など2兆円の大企業・大資産家減税の中止
- 高速道路無料化、子ども手当の上乗せの中止
- 米軍への「思いやり予算」、グアムへの基地建設費の撤廃
- 政党助成金(320億円)の廃止

年5兆円規模の財源に

### 2 大企業のためこみ244兆円 いまこそ活用を 震災復興国債

“使い道がなくて困っている”（日銀総裁）

従前の国債とは別枠の「震災復興国債」を大企業に引き受けてもらい、財源とします。こんなときだからこそ、大企業に社会への責任をはたしてもらいます。

財源はつくれます

「しんぶん赤旗」2011年3・4月号外より

## 日本共産党って？ ものがたり「3」

日本共産党は、原発大量増設が開始された当初から、原子力行政の根本的な転換を歴代政権に要求し、住民とともに増設計画に反対してきました。

4月6日の衆院経済産業委員会、日本共産党の吉

井英勝議員は、原発事故を招いた政府の責任をただし、危機脱却のために英知を結集するよう求めました。

## 福島原発事故は人災

「安全神話」が  
危機の要因

人災の一つは、地震や津波などによる全電源喪失が原子炉



質問する吉井英勝議員  
=4/6、衆院経済産業委

の冷却機能を破壊し炉心溶融を招くことを、吉井氏が2005年以来、質問主意書や国会質問で取り上げてきたのに、政府が耳を傾けなかったことです。国も電力会社も原子力安全・保安院も「原発安全神話」を信仰し、情報を公開せず、国民の安全より企業利益第一主義に走ったのが危機の最大の要因です。

昨年5月、国会で「全電源喪失による炉心溶融は現実には起こらない」と吉井氏に答弁していた寺坂信昭経産省原子力安全・保安院長は「当時の認識に甘さがあつたことを深く反省している」と答弁しました。

### 「海水注入命令は翌日」

人災のもう1つは、原子力安全基盤機構（JNES）の研究報告が、全電源喪失で0・6時間後に核燃料が落下、1・8時間後に圧力容器が破損すると警告していたのに、重大局面に菅直人首相や班目春樹原子力安全委員長が現地視察のため

4時間半も原子力災害対策本部を離れ、さらに、視察から戻ってからも、12日の20時5分に経産相が東電に海水注入などを命令するまで10時間以上もきちんとした対策をとらなかつたことです。

班目原子力安全委員長はJNES報告を知らず、「どれぐらい緊急を要しているか把握していなかつた」と弁明。海江田万里経産相は、ベント（蒸気排出）や海水注入を命令したのは「日をまたいでから」だったと認めました。

### 英知結集し危機回避を

吉井氏は、多くの研究者や技術者から、政府に提言を受け付ける窓口がないとの声が上がっていると述べ、「受付部門をつくり、日本の英知を総結集して、深刻でないままの事態を食い止めるべきだ」と主張し対応を求めました。枝野幸男官房長官は、「おっしゃるとおりだ。関係当局と相談したい」と応じました。

## あらためて 自己紹介します

日本共産党中央区議会議員のおぐり智恵子です。日本橋から区議会に送っていただき5期20年になります。あらためまして自己紹介させていただきます。

1955年8月  
静岡県富士市生まれ。祖父母、父母、妹の6人家族。

74年4月  
▼大学進学のため上京。父親が木工だったので設計の仕事にあこがれ、日本女子大家政学部住居学科入学。寮自治会の活動を通じ、日本共産党が命がけで戦争に反対した政党だと知り、20歳の時学生支部に入党。



78年4月  
▼就職難の年でしたが日本橋にあった鉄鋼会社の東京支社に入社。設計士の夢破れ一般事務職。

87年11月  
▼サークル活動で知り合った夫と結婚。夫は製薬会社を辞め「赤旗」中央区出張所長でした。

90年8月  
▼中央区議会議員の吉田綾子さんの後継者にと要請を受け「男女平等の社会にしたい」と決意し12年勤めた会社を退職。

91年4月  
▼みなさんのお力添えで、35歳で区議会議員選挙初当選。

94年1月  
▼中央区議会史上初、産休を取り出産。子育てしながら議員活動。

2011年4月  
▼現在5期目。区議会では、子育て・介護・医療の問題を扱う福祉保健委員会委員として活動。地域活性化対策特別委員会では委員長。